

九州から考える、 これからの文化支援 アーツカウンシルという視点

2026

3/1

日

14:00-16:30

開場 13:30

九州大学大橋キャンパス
多次元デザイン実験棟ホール
定員 100名

九州では、人口減少や高齢化といった課題が進む一方で、地域の文化や風土を生かした芸術活動も各地で生まれています。こうした動きを支える仕組みとして、近年「アーツカウンシル」が注目され、九州でも少しずつ取り組みが広がっています。本シンポジウムでは、関係者とともに、これからの九州にふさわしい文化支援のあり方について考えていきます。

申込はこちらの
QRコードから



参加
無料

プログラム

問題提起「いま、なぜアーツカウンシルか——福岡で文化への”まなざし方”を考える」

大澤寅雄（合同会社文化コモンズ研究所 共同代表 / 福岡県アーツカウンシル（仮称）設立検討委員会委員長）

報告「九州・沖縄におけるアーツカウンシルの動向」

上地里佳（沖縄アーツカウンシル チーフプログラムオフィサー）

西田亞由美（福岡市文化芸術振興財団 事業課長[アーツカウンシル福岡]）

山森達也（アーツカウンシルみやざき プログラムディレクター）

パネルディスカッション